

史学委員会

歴史資料の保存・管理と公開に関する分科会（第25期・第3回）

議事要旨

1. 会議名 歴史資料の保存・管理と公開に関する分科会（第25期・第3回）
2. 日時 令和3年（2021）6月26日（土）18時～19時30分
なお、当日、13：30～17：45に、本分科会・史学委員会主催のシンポジウムを開催した。
3. 会場 オンライン（Zoomミーティングを利用）
4. 出席委員 石居人也、大友一雄、大橋幸泰、奥村弘、長志珠絵、倉員正江、栗田禎子、久留島典子、佐野正博、芳賀満、柳原敏明、若尾政希
5. 議題

（1）日本学術会議資料の保存・管理と公開に関して

日本学術会議のアーカイブズについて、事務局と相談する必要があるが、時間がとれない状態が続いている。

（2）国立公文書館アーキビスト認証について

昭和62(1987)年12月15日に公布された公文書館法附則第2項には、「当分の間、地方公共団体が設置する公文書館には、第4条第2項の専門職員をおかないことができる」とあるが、国立公文書館によるアーキビスト認証が始まった今、この附則第2項を外すべく、関係省庁等と議論して提言を発出すべきではないかという意見が出された。また、アーキビストを国家資格にするように尽力すべきだと意見も出され、合意された。歴史学・アーカイブズ学の専門家に加えて、行政法の専門家の意見を聞いてみることになった。

（3）被災史料の救済・保存をめぐって

広域の災害が起きたときにどう対処するのか、ネットワークをどう作っていくのかについて、関係諸団体とも連絡をとり、検討していく必要があるという意見が出された。また、首都圏に直下型地震が起きたときに、どう対応する

のかについて、その体制づくりについて、シンポジウムを開催して情報交換・意見交換を行うことにした。